

# ふれあいの発進



## 職員紹介

吉田 由賀子

- 1 職種 療養部 看護職
- 2 血液型 O型
- 3 趣味 カラオケ
- 4 座右の銘 一期一会
- 5 抱負 すべての利用者の方々一人一人が、お父さんであり、お母さんと思い接してきました。これからも同じ思いの中、その人らしく過ごせるよう、接していけるよう、諸先輩方の指導の中、頑張っていこうと思います。



## 家族会報告

今回の家族会では、ターミナルケアについての事例検討を行いました。必ず来る家族の死に対して、どんな気持ちを抱いているのか、また、どういった対応をしたらよいか等の不安などが聞ければ良いと思っていました。

しかし、グループ討議では、ターミナルを迎えたらという先のことより、現在置かれている利用者の状態や、今後の状況が分からない事に対する不安の方が大きく、また、強く感じておられることが解った。「このまま施設でお願いしたいが、ずっと居られるのか？」また「在宅介護は難しい」と生活等の不安な話を聞いて、自分の大切な家族だからこそ、悩み不安になるのだと思った。今回の家族会で、ご家族の方は、自分の思いを伝えることが出来て、気持ちが少し楽になったのではないかと思います。最後のご家族からの感想で、「最後を在宅で看取る時、本人と向き合うことに前向きになった。」「自分が対応していく覚悟で、母と最後まで向き合っていく。」という言葉聞き、ターミナルはまだ受け入れ難いが、その時はしっかり受け止めていくという気持ちが確認出来たのではないかと思います。

施設長の「人間命に限りがあるからこそ輝けるのだ。」という言葉を受け、最後までその人らしく輝けるように関わり、ケアしていくことが、私たちに与えられた課題だと思います。

(介護支援専門員 黒田 早苗)

## 研修報告

11月10日～3日間、岡山にて、全国介護老人保健施設大会が開催され、職員3名が参加しました。当大会では、身体拘束、ターミナルケア、認知症ケア、在宅支援など様々な発表がありました。その中でも、ターミナルケアについての発表が多く、全国的にもターミナルケアへの関心が強くなっているように感じました。ここ、なんぐん館でもターミナルケアを行っています。取り組みを始めてから何名かの方をケアさせて頂きました。初めのうちは職員が戸惑うことも多かったですが、現在では皆、落ちついて対応することが出来るようになってきています。今までの経験や、学んできたことを生かしながら、ターミナルを迎えた方がその人らしく、最後を迎えていただけるよう支援していきたいと思えます。

(介護支援専門員 山口 香織)

## 行事

- 12月 クリスマス会  
寿司屋台  
餅つき
- 1月 新年会



暦の上でも冬に入り、朝夕とめつきり寒くなってきました。これからの季節は、インフルエンザ等が流行しだしますので、皆さんも外出後のうがいや、手洗いにて予防に努めましょう。

この、ふれあいの発信も今年最後の発行になります。今年一年ありがとうございました。また、来年からも、利用者の方との笑顔の交流や、各行事等の様子をお届けしていきたいと思えます。



## 編集後記

社団法人 南宇和郡医師会  
老人保健施設  
なんぐん館  
南宇和郡愛南町御莊深泥703-2  
TEL (0895) 73-1021  
発行責任者 施設長 粉川 顯仲